



ゾーニング計画

- ・既存のコミュニティセンターを運営しながら新たなコミュニティセンターを建設
- ・敷地西側の駐車場用地に新棟を建設
- ・敷地東側は新棟完成後に既存のコミュニティセンターを解体し、駐車場を整備
- ・袋井消防団袋井方面隊第1分団車庫等は袋井消防署南側市有地に移転

配置・平面計画



施設概要

- 構造：鉄骨造 一部木造 ■階数：平屋建て
- 延べ面積（軒下含む） 1,141.51 m² ■建築面積（軒下含む） 1,242.96 m² 屋内床面積 1,003.91 m²
- 諸室：オープンスペース（学習コーナー、図書コーナー、ギャラリー・展示・情報コーナー、カフェコーナー）大ホール（大ホールA、大ホールB）、キッチンスタジオ、事務コーナー、多機能室、多目的室A、多目的室B、畳コーナー・託児コーナー、キッズコーナー、男子トイレ、女子トイレ、キッズトイレ、誰でもトイレ、授乳室
- 屋外スペース：駐車場、駐輪スペース、中庭、半屋外スペース
- 附属建物：備品倉庫、防災倉庫、マンホールトイレ ■駐車台数：65台

開設までのスケジュール（予定）

年度	2017	2018	2019	2020	2021
基本構想・基本計画	基本構想・基本計画	基本設計・実施設計	建設工事	解体・外構工事 一部供用開始	全面供用開始

新たな袋井西コミュニティセンター 基本設計がまとまりました

～2020年度中の完成を目指して事業に取り組んでいきます！～



袋井西コミュニティセンター（旧公民館）は、市内で最初に建設された公民館（昭和53年開館）で建築後40年が経過し、施設の老朽化への対応、施設や設備の機能の充実が必要となったことなどから地域からも建て替えの要望をいただき、総合的に判断した結果、建て替えすることといたしました。袋井西コミュニティセンターの建設に向けましては、これまで地域住民の代表の方々や利用者の皆様に参画していただき、意見交換やワークショップ等を開催し検討してきました。

今回、「袋井西コミュニティセンター基本設計」が取りまとまりましたので、設計概要、配置計画などをお知らせします。

これまでの経緯

- | | |
|------------|--|
| 平成24年9月 | 袋井西公民館（現コミュニティセンター）の建替整備方針が決定 |
| 平成25年～現在 | 袋井西公民館運営委員会代表者と建て替えについての協議
袋井西コミュニティセンターの新築を考える会による協議 |
| 平成27年 | 袋井西コミュニティセンター整備に係るアンケート調査の実施
（公民館関係者及び20～40歳代の若い世代） |
| 平成29年～30年 | 袋井西コミュニティセンターの新築を考えるワークショップによる検討（2カ年） |
| 平成30年3月 | 袋井西コミュニティセンター基本構想・基本計画を策定 |
| 平成30年6月 | プロポーザルによる袋井西コミュニティセンター建築基本・実施設計業者の選定 |
| 平成30年7月～現在 | 袋井西コミュニティセンター建築基本・実施設計業務の実施 |
| 平成31年1月 | 新たな袋井西コミュニティセンター基本設計報告会を開催 |

設計方針

- 1 誰もがふらっと立ち寄り、気軽にふれあう平屋建て施設
- 2 市民を包む懐の大きい軒下空間
- 3 まちに開く3つの『縁』

発行・お問い合わせ

袋井市役所 総務部 協働まちづくり課 コミュニティ活動推進室
 TEL:0538-44-3158 FAX:0538-43-2132
 E-mail:shimin-kyodo@city.fukuroi.shizuoka.jp

設 計

株式会社竹下一級建築士事務所

ワークショップ協力

静岡理科大学 理工学部 建築学科 佐藤健司教授、建築学科有志学生



ワークショップ等でいただいた意見や提案を基本設計に反映させていただきました

新築を考える会やワークショップなどから、多くのご意見やご提案をいただき、基本設計に反映させていただきました。その一部ですが、ご意見やご提案を紹介します。 ※一部を抜粋

施設等項目	意見（こんな風に使えると良い等）、提案	対応方針
施設全般	開放性の高い建物である反面、安全性はどうか。（不法侵入などの心配）	通常時はオープンスペースの北面に専用の出入口を設けます。事務コーナーは管理者の目が行き届くように配慮し、監視カメラなどの設備や警備保障の導入は実施計画時に検討します。また、ガラス面であってもプライバシーが必要な場所は、ロールスクリーンなどを設置します。
ゾーニング	調理室とキッズコーナーが近く、危ないように思われる。 調理室と多目的室を行き来できるようにすると良いと思われる。	キッズコーナーは、中庭に面した場所に移し、安全対策も踏まえ中庭とキッズコーナーの一体的利用ができるように計画します。 調理したものの食事ができる場所としては、調理室の中にダイニングセットを設けることとします。多目的室や多機能室は、会議室、音楽活動等、独立した利用目的を考えているため、利用人数が多い時はオープンスペース、縁側スペースで食事ができるように計画します。
オープンスペース	読書、打ち合わせ等を事務所に行かなくてもふらっと使用できると良い。また、開館日の夜、カフェコーナーでBGMを流して、コーヒーを飲む（談話）などの利用ができると良い。 中高生が帰宅する前に気軽に立ち寄れる場所になると良い。（自主勉強ができるスペースとなってほしい）	誰もが気軽にオープンスペースを活用できるように計画します。 オープンスペースや多目的室を活用して対応できるように計画します。
大ホール	普段は間仕切りを設けた会議室として利用できると良い。 外から見えるガラス張りが良い。	通常は間仕切りを設け、2室に仕切ることを計画します。 キッチンスタジオの北面と東面はガラス張りを計画します。
キッチンスタジオ	食事交流ができるスペースがあると良い。 キッチンスタジオを充実してほしい。	調理室内に食事ができるダイニングセット（テーブル、椅子）を設置します。また、オープンスペースで食事交流ができるように計画します。部屋を大きくとり、機能を充実します。
多機能室	バンド活動、カラオケのできる防音の多目的室があると良い。また、ダンス等の練習ができると良い。	多機能室は防音のある部屋として整備を検討します。また、ダンスの練習などにも利用できるように計画します。
和室	・多様な用途として使えるようにすると良い。 ・和室を大ホールの出演者の控室として使えるようにすると良い。 ・和室は、生花、お茶などができるようにすると良い。 ・託児スペース、キッズコーナーとして活用する。	中庭の隣接部分にキッズコーナーを移す計画とします。このため、和室については、畳コーナーとして整備することとし、通常は託児や子どもの遊びの見守りにも活用できるスペースとして計画します。
トイレ	トイレを玄関入口から近く分かりやすい所へ場所を変えてほしい。	トイレの位置は中央付近の分かりやすい位置に計画します。

新たな袋井西コミュニティセンター基本設計報告会を開催しました

地域の皆さんに模型やパース図を使いながら、設計の基本方針、設計概要、配置計画などをお知らせするため、報告会を開催しました。当日は約50人の方が参加され、基本設計の概要を報告しました。

■開催日時：平成31年1月26日（土）午後1時30分～

■会場：袋井西コミュニティセンターホール

■プログラム：新袋井西コミュニティセンター基本設計の内容説明

当日の質問内容(抜粋)

Q1：北側の都市計画道路は建て替えの際、整備を予定しているのか。

A1：現在、具体的な道路整備方針は決まっていませんので、建て替え時において、道路整備は計画していません。

Q2：電気設備について、トイレなどの電気の消し忘れ防止策として、センサーなどで自動点灯するような照明を考えていただきたい。

A2：詳細の設備設計は、実施設計に組み込んでいきます。また、人感センサーやタイマー設定などの省エネに配慮した設計としていきます。

Q3：壁面に、ガラスが多く用いられているが、どのようなガラスを使うのか。

A3：構造計算のもと、割れにくい強化ガラス等の選定を検討しています。建物の安全対策には、十分配慮していきます。

Q4：北側が正面玄関となっているが、なぜ東側を正面玄関にしなかったのか。

A4：北側の市道が主たる進入路となり、この道路に面することとなる北側を正面玄関とすることが、最も適していると判断しました。また、建物東側の車送迎レーンと歩行者の安全を確保することにも配慮しました。

地域の皆さんとワークショップを開催しました

コミュニティセンターの建て替えに向けて、地域の皆さんの参画のもと、平成29年7月から2カ年に渡り、ワークショップ等を開催して、利用者目線による話し合いを重ねてきました。

ワークショップの開催状況

〔平成29年度〕

第1回（平成29年7月30日）

「新しいコミュニティセンターでこんなことができたらいいネ！」

事務局から、現在の公民館（現コミュニティセンター）の使われ方の説明を行い、参加者から新しいコミュニティセンターに期待することなどの意見をいただきました。

第2回（平成29年9月30日）

「こんな使い方のできるコミュニティセンターをつくりたい！」

施設に必要な機能（実現したい使い方・機能、スペース、袋井西らしいコミセン、運営・建築のあり方等）について意見交換を行いました。

第3回（平成29年10月28日）

「これが、私たちのコミュニティセンターだ！」

事務局から（仮称）袋井西コミュニティセンター基本構想・基本計画（案）の説明を行い、施設の基本コンセプトや役割・機能等についての意見交換を行いました

〔平成30年度〕

第1回（平成30年8月10日）

「基本構想・基本計画とプロポーザル（提案）について自由に話し合おう！」

事務局からプロポーザル案の説明を行い、参加者はグループに分かれ、プロポーザル案について、自由に話し合いました。意見の中には、階数についてや安全性、防災、設備関係など様々な意見が出されました。

第2回（平成30年8月26日）

「参考事例を実際に見てみよう！」

参考事例として、磐田市豊岡中央交流センター、春華堂 niceo、サーラプラザ佐鳴台を実際に見学しました。目的や性格が異なる建物でしたが、それぞれ特徴があり、新しいコミュニティセンターのイメージをメンバーで共有することができました。

第3回（平成30年9月8日）

「各施設や部屋ごとの空間をイメージしつつ、その場所での具体的な活動を話し合おう！」

前回までのワークショップを踏まえて、施設の具体的な活動について話し合いました。大ホール、オープンスペース、キッチンスタジオについての意見が多く挙げられ、現在の利用状況や課題を踏まえた意見交換ができました。

第4回（平成30年9月29日）

「施設の使い方についてまとめよう！」

これまでにいただいた意見への対応方法や検討内容を踏まえた基本設計方針（案）を説明しました。計画の軸となるコンセプトやプランは、プロポーザル案を基本としながらも、ワークショップメンバーの夢や希望が詰まった様々な意見や要望を反映させた基本設計がまとまりました。

この他、健康づくり食生活推進員の皆さんや乳幼児学級・少年学級の保護者の皆さんとも意見交換を行い、貴重なご意見をいただき、基本設計に反映させていただきました。



グループ代表者が発表



サーラプラザ佐鳴台を見学



模型を使って空間イメージを共有



グループを超えて議論を交わしている風景